

グリーン購入法〈文具類〉の手引き

（「環境物品等の調達に関する基本方針」より引用）

（第 2 2 版）

令和 7 年 1 月 発行

一般社団法人 全日本文具協会

目 次

はじめに	1
1. 文具類の判断の基準	2
(「環境物品等の調達に関する基本方針」より引用)	
2. 文具類特定調達品目の解釈と具体例	8
3. ファイル・バインダーの様式と名称	13
4. 委員構成表	16

グリーン購入法＜文具類＞の手引き

一般社団法人 全日本文具協会

はじめに

循環型社会形成推進基本法の一つとして、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）は、平成13年4月に施行されてから24年目を迎えようとしています。同法律に基づく「環境物品等の調達の推進等に関する基本方針」（以下、基本方針という）には、調達の推進の基本的方向・重要事項の他に、「国等が重点的に調達すべき物品及び役務の種類」（特定調達品目）並びにその「判断の基準」が定められました。文具類については、初年度に特定調達品目48品目が定められ、その後年ごとに品目の追加・整理が行われ、現在は85品目にまで拡大されました。

文具類は身近で使用し慣れ親しんでいる物品ですが、品目名だけではその定義・範囲の判断が難しい品目もあり、同法律の施行当初より、国等の物品調達担当者及び文具類の製造・販売企業等から環境省及び当協会に対して、特定調達品目の定義・範囲に関する数多くの問い合わせが寄せられました。

このため、当協会は、特定調達物品の調達の推進と一層の普及を図ることを目的として、国・地方等の物品調達担当者が実際の調達の指針としていただくための「文具類の手引き」を作成することとし、平成15年2月に第1版を発行いたしました。以降、基本方針や判断の基準、あるいは品目の解釈等の見直しが行われる度ごとに版を重ねて発行してまいりました。

このたび、文具類の判断の基準の見直しが行われたことに伴い、第22版を発行することになりました。令和7年度の文具類のグリーン調達にあたっては、本手引き（第22版）をご活用下さるようお願いいたします。

「文具類特定調達品目の解釈と具体例」の構成は、次のようになっています。

1. 特定調達品目名

基本方針に定める文具類特定調達品目

2. 品目の解釈・定義（機能・用途・形態等）

それぞれの特定調達品目の機能・用途・形態等による解釈・定義を表わします。日本産業規格等の公的規格が存在するものはそれらを参考としています。

3. 特定調達品目となる範囲又は製品例

2.の解釈・定義により対象に含まれる範囲又は製品の一般的な種類等を記載しています。空欄となっている品目は、解釈・定義により歴然と理解でき調達に当たって迷う恐れのないものです。ただし、「ファイル」及び「バインダー」については品目の解釈・定義だけでは理解が困難なため、日本ファイル・バインダー協会の協力のもと同協会発行の「ファイル・バインダーのしおり／種類と規格 VOL.10」からイラストを引用しています。

4. 特定調達品目とならない範囲又は製品例

2.の解釈・定義により対象に含まれない範囲、又は類似していて判断に迷うが対象に含まれない製品の一般的な種類等を記載しています。

本手引きにおいて、「ファイル」及び「バインダー」以外の品目については、文言のみによる説明となっています。また、本手引きは、個々の品目の商品情報を提供するものではなく、特定調達品目の範囲を示すガイドラインとなっていますので、実際の調達に当たっては第三者機関や企業が提供する環境物品を選ぶための情報源を活用していただくようお願いします。

（注）「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」につきましては、環境省の資料をご参照下さい。

1. 文具類の品目及び判断の基準等（「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」より引用）

文具類共通	【判断の基準】 ○次のいずれかの要件を満たすこと。また、これに加えて、主要材料以外の材料に木質が含まれる場合は②、紙が含まれる場合で原料にバージンパルプが使用される場合は③イの要件をそれぞれ満たすこと。 ①金属を除く主要材料がプラスチックの場合は、再生プラスチックがプラスチック重量の40％以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあつては、プラスチック重量の20％以上使用されていること。 ②金属を除く主要材料が木質の場合は、間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の再生資源であること、又は、原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。 ③金属を除く主要材料が紙の場合は、次の要件を満たすこと。 ア. 紙の原料は古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が50％以上であること。 イ. 紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材、小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。 ④大部分の材料が金属類の場合は、次の要件を満たすこと。ただし、すべての材料が金属の場合はイの要件を除く。 ア. 原材料の使用量の削減及び部品等の軽量化・減量化が図られるよう製品の設計がなされていること。 イ. 使用後に異種材料間の分解・分別が可能なるものであること。ただし、安全性などを考慮し、容易に分解・分別できないことが必要な部品を除く。 ⑤エコマーク認定基準を満たすこと又は同等のものであること。 【配慮事項】 ①古紙パルプ配合率、再生プラスチック配合率が可能な限り高いものであること。 ②使用される塗料は、有機溶剤及び臭気可能な限り少ないものであること。 ③材料に木質が含まれる場合にあつては、その原料の原木は持続可能な森林経営が営まれている森林から産出されたものであること。ただし、間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の再生資源である木材は除く。 ④材料に紙が含まれる場合でバージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は持続可能な森林経営が営まれている森林から産出されたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。 ⑤間伐材又は間伐材パルプの利用割合が可能な限り高いものであること。 ⑥製品の原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクルにおける温室効果ガス排出量を地球温暖化係数に基づき二酸化炭素相当量に換算して算定した定量的環境情報が開示されていること。 ⑦製品全体又は部品及び容器包装は、可能な限り単一素材化又は使用する素材の種類が少なくなるよう配慮されていること。 ⑧製品の包装又は梱包は、可能な限り簡易であつて、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。 ⑨製品の包装又は梱包にプラスチックを使用している場合は、再生プラスチック又はバイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが可能な限り使用されていること。 注）文具類に定める特定調達品目については、共通して上記の判断の基準及び配慮事項を適用する。ただし、大部分の材料が金属類に該当しない場合であつて、個別の特定調達品目について判断の基準（●印）を定めているものについては、上記の判断の基準に代えて、当該品目について定める判断の基準（●印）を適用する。また、適用箇所を定めているものについては、適用箇所のみに上記の判断の基準を適用する。
シャープペンシル	【配慮事項】○残芯が可能な限り少ないこと。
シャープペンシル替芯	【判断の基準は容器に適用】
ボールペン	【判断の基準】●文具類共通の判断の基準を満たすこと、かつ、芯が交換できること。
マーキングペン	【配慮事項】○消耗品が交換又は補充できること。
鉛筆	
スタンプ台	【判断の基準】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあつては、再生プラスチックがプラスチック重量の70％以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること（消耗部分を除く。）。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあつては、プラスチック重量の35％以上使用されていること。それ以外の場合にあつては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。 【配慮事項】○インク又は液が補充できること。
朱肉	【判断の基準】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあつては、再生プラスチックがプラスチック重量の70％以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること（消耗部分を除く。）。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあつては、プラスチック重量の35％以上使用されていること。それ以外の場合にあつては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。 【配慮事項】○インク又は液が補充できること。
印章セット	【配慮事項】○液が補充できること。
印箱	
公印	
ゴム印	
回転ゴム印	
定規	
トレー	
消しゴム	【判断の基準は巻紙（スリプ）又はケースに適用】
ステープラー（汎用型）	【判断の基準】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあつては、再生プラスチックがプラスチック重量の70％以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること（機構部分を除く。）。それ以外の場合にあつては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。 【配慮事項】○再使用、再生利用又は適正廃棄を容易に行うように、分離又は分別の工夫がなされていること。
ステープラー（汎用型以外）	【配慮事項】○再使用、再生利用又は適正廃棄を容易に行うように、分離又は分別の工夫がなされていること。
ステープラー針リムーバー	【配慮事項】○再使用、再生利用又は適正廃棄を容易に行うように、分離又は分別の工夫がなされていること。

1. 文具類の品目及び判断の基準等（「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」より引用）

連射式クリップ(本体)	【判断の基準】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあっては、再生プラスチックがプラスチック重量の70%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること(消耗部分を除く。)。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあっては、プラスチック重量の35%以上使用されていること。それ以外の場合にあっては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。
事務用修正具(テープ)	【判断の基準】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあっては、再生プラスチックがプラスチック重量の70%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること(消耗部分を除く。)。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあっては、プラスチック重量の35%以上使用されていること。それ以外の場合にあっては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。 【配慮事項】○消耗品が交換できること。
事務用修正具(液状)	【判断の基準は容器に適用】
クラフトテープ	【判断の基準】●テープ基材については古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が40%以上であること。また、紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあっては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。 【配慮事項】○粘着剤が水又は弱アルカリ水溶液中で、溶解又は細かく分散するものであり、樹脂ラミネート加工がされていないこと。
布粘着テープ (プラスチック製クロス テープを含む。)	【判断の基準】●テープ基材(ラミネート層を除くことができる。)については再生プラスチックがプラスチック重量の40%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。
両面粘着紙テープ	【判断の基準】●テープ基材については古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が40%以上であること。また、紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあっては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。
製本テープ	【判断の基準はテープ基材に適用】
ボックススタンド	【判断の基準】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあっては、再生プラスチックがプラスチック重量の70%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあっては、プラスチック重量の35%以上使用されていること。それ以外の場合にあっては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。
ペンスタンド	
クリップケース	
はさみ	【配慮事項】○再使用、再生利用又は適正廃棄を容易に行いうるよう、分離又は分別の工夫がなされていること。
マグネット(玉)	
マグネット(バー)	
テープカッター	
パンチ(手動)	
モルトケース(紙めくり用ス ポンジケース)	
紙めくりクリーム	【判断の基準は容器に適用】
鉛筆削(手動)	【配慮事項】○再使用、再生利用又は適正廃棄を容易に行いうるよう、分離又は分別の工夫がなされていること。
OAクリーナー (ウェットタイプ)	【判断の基準】【判断の基準は容器に適用】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあっては、再生プラスチックがプラスチック重量の70%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあっては、プラスチック重量の35%以上使用されていること。それ以外の場合にあっては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。 【配慮事項】○内容物が補充できること。
OAクリーナー(液タイプ)	【判断の基準は容器に適用】 【配慮事項】○内容物が補充できること。
ダストブロワー	【判断の基準】●フロン類が使用されていないこと。ただし、可燃性の高い物質が使用されている場合にあっては、製品に、その取扱いについての適切な記載がなされていること。
レターケース	
メディアケース	【判断の基準】●次のいずれかの要件を満たすこと。 ①金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあっては、再生プラスチックがプラスチック重量の70%以上使用されていること。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあっては、プラスチック重量の35%以上使用されていること。それ以外の場合にあっては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。 ②CD、DVD及びBD用にあつては、厚さ5mm程度以下のスリムタイプケースであること。 ③バイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。
マウスパッド	
OAフィルター(枠あり)	【判断の基準】●次のいずれかの要件を満たすこと。 ①文具類共通の判断の基準を満たすこと、又はバイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。 ②枠部は、再生プラスチックが枠部全体重量の50%以上使用されていること。
丸刃式紙裁断機	【配慮事項】○再使用、再生利用又は適正廃棄を容易に行いうるよう、分離又は分別の工夫がなされていること。
カッターナイフ	
カッティングマット	【配慮事項】○マットの両面が使用できること。
デスクマット	

1. 文具類の品目及び判断の基準等（「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」より引用）

OHPフィルム	【判断の基準】●次のいずれかの要件を満たすこと。 ①再生プラスチックがプラスチック重量の30%以上使用されていること。 ②インクジェット用のものにあつては、上記①の要件を満たすこと、又はバイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。
絵筆	【判断の基準】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあつては、再生プラスチックがプラスチック重量の70%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあつては、プラスチック重量の35%以上使用されていること。それ以外の場合にあつては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。
絵の具	【判断の基準は容器に適用】
墨汁	【判断の基準は容器に適用】
のり(液状) (補充用を含む。)	【判断の基準は容器に適用】 【配慮事項】○内容物が補充できること。
のり(澱粉のり) (補充用を含む。)	
のり(固形) (補充用を含む。)	【判断の基準は容器・ケースに適用】 【配慮事項】○消耗品が交換できること。
のり(テープ)	
ファイル	【判断の基準】●金属を除く主要材料が紙の場合にあつては、紙の原料は古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が70%以上であること。また、紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。それ以外の場合にあつては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。 【配慮事項】○表紙とどじ具を分離し、部品を再使用、再生利用又は分別廃棄できる構造になっていること。
バンダー	【判断の基準】●金属を除く主要材料が紙の場合にあつては、紙の原料は古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が70%以上であること。また、紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。それ以外の場合にあつては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。 【配慮事項】○表紙とどじ具を分離し、部品を再使用、再生利用又は分別廃棄できる構造になっていること。
ファイリング用品	
アルバム(台紙を含む。)	
つづりひも	【判断の基準】●次のいずれかの要件を満たすこと。 ①金属を除く主要材料が紙の場合にあつては、紙の原料が古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が70%以上であること。また、紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。 ②金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあつては、再生プラスチックがプラスチック重量の70%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあつては、プラスチック重量の35%以上使用されていること。 ③上記①又は②以外の場合にあつては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。
カードケース	
事務用封筒(紙製)	【判断の基準】●古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が40%以上であること。また、紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。
窓付き封筒(紙製)	【判断の基準】●古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が40%以上であること。また、紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。〔窓部分に紙を使用している場合は、古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの配合率の判断の基準を窓部分には適用しない。〕 ●窓部分にプラスチック製フィルムを使用している場合は、窓フィルムについては再生プラスチックがプラスチック重量の40%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであつて環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。
けい紙	【判断の基準】●古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が70%以上であること。また、紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。
起案用紙	
ノート	
パンチラベル	【配慮事項】○粘着剤が水又は弱アルカリ水溶液中で、溶解又は細かく分散するものであり、樹脂ラミネート加工がされていないこと。
タックラベル	【判断の基準】●金属を除く主要材料が紙の場合にあつては、紙の原料が古紙パルプ、森林認証材パルプ及び間伐材等パルプの合計の配合率が70%以上であること(粘着部分を除く。)。また、紙の原料にバージンパルプが使用される場合にあつては、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続が適切になされたものであること。ただし、間伐材により製造されたバージンパルプ及び合板・製材工場から発生する端材、林地残材・小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。それ以外の場合にあつては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。 【配慮事項】○粘着剤が水又は弱アルカリ水溶液中で、溶解又は細かく分散するものであり、樹脂ラミネート加工がされていないこと。
インデックス	
付箋紙	
付箋フィルム	【配慮事項】○粘着剤が水又は弱アルカリ水溶液中で、溶解又は細かく分散するものであること。
黒板拭き	

1. 文具類の品目及び判断の基準等（「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」より引用）

ホワイトボード用イレーザー	
額縁	
テープ印字機等用 カセット	【判断の基準】●次のいずれかの要件を満たすこと。 ①文具類共通の判断の基準を満たすこと。 ②次の要件を満たすこと。 ア. 使用済み製品にテープ部分(リボンを含む。)を再充填し、必要に応じて消耗部品を交換できることが、包装、同梱される印刷物又は取扱説明書のいずれかに表記されていること。 イ. 通常の使用条件により、5回以上繰り返して使用することが可能であること。 ウ. 工場で再充填される製品は、使用済み製品の回収システムがあること。 エ. 工場で再充填される製品は、回収した製品の部品の再資源化率(使用済みとなって排出され、再資源化を目的に回収後、再資源化工程に投入された製品の重量又は回収したカートリッジ等の重量のうち、再使用、マテリアルリサイクル、エネルギー回収や油化、ガス化、高炉還元又はコークス炉化学原料化された部品の重量の割合をいう。)が製品全体の重量(インクを除く。)の95%以上であること。また、回収した製品の部品のうち再使用又は再生使用できない部分は、減量化等が行われた上で、適正処理され、単純埋立されないこと。
テープ印字機等用 テープ	【判断の基準】●次のいずれかの要件を満たすこと。 ①文具類共通の判断の基準を満たすこと。 ②テープ部分を交換することでテープ印字機等をそのまま使用できること。
ごみ箱	【判断の基準】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあっては、再生プラスチックがプラスチック重量の70%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあっては、プラスチック重量の35%以上使用されていること。それ以外の場合にあっては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。
リサイクルボックス	【判断の基準】●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあっては、再生プラスチックがプラスチック重量の70%以上使用されていること又はバイオマスプラスチックであって環境負荷低減効果が確認されたものが使用されていること。ただし、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックにあっては、プラスチック重量の35%以上使用されていること。それ以外の場合にあっては、文具類共通の判断の基準を満たすこと。
缶・ボトルつぶし機(手動)	
名札(机上用)	
名札 (衣服取付型・首下げ型)	
鍵かけ(フックを含む。)	
チョーク	【判断の基準】●再生材料が10%以上使用されていること。
グラウンド用白線	【判断の基準】●再生材料が70%以上使用されていること。
梱包用バンド	【判断の基準】●金属を除く主要材料が紙の場合にあっては、古紙パルプ配合率100%であること。 ●金属を除く主要材料がプラスチックの場合にあっては、ポストコンシューマ材料からなる再生プラスチックがプラスチック重量の25%以上使用されていること。ただし、廃ペットボトルのリサイクル製品は除く。

- 備考) 1 本項の判断の基準の対象とする「ステープラー(汎用型)」とは、JIS S 6036 の2.に規定するステープラつづり針の種類10 号を使用するハンディタイプのをいう。また、「ステープラー(汎用型以外)」とは、ステープラー(汎用型)以外のものをいい、針を用いない方式のものを含む。
- 2 「ファイル」とは、穴をあけてどじる各種ファイル(フラットファイル、パイプ式ファイル、とじこみ表紙、ファスナー(とじ具)、コンピュータ用キャップ式等)及び穴をあけずにどじる各種ファイル(フォルダー、ホルダー、ボックスファイル、ドキュメントファイル、透明ポケット式ファイル、スクラップブック、Z式ファイル、クリップファイル、用箋挟、図面ファイル、ケースファイル等)等をいう。
- 3 「バインダー」とは、MP バインダー、リングバインダー等をいう。
- 4 「ファイリング用品」とは、ファイル又はバインダーに補充して用いる背見出し、ポケット及び仕切紙をいう。
- 5 「古紙」及び「古紙パルプ配合率」とは、本基本方針「2. 紙類」の「(2) 古紙及び古紙パルプ配合率」による。
- 6 「間伐材等」とは、間伐材又は竹をいう。
- 7 「再生プラスチック」とは、使用された後に廃棄されたプラスチック製品の全部若しくは一部又は製品の製造工程の廃棄ルートから発生するプラスチック端材若しくは不良品を再生利用したものをいう(ただし、原料として同一工程内で再生利用されるものは除く。)。
- 8 「ポストコンシューマ材料」とは、製品として使用された後に、廃棄された材料又は製品をいう。
- 9 「バイオマスプラスチック」とは、原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するプラスチックをいう。
- 10 「環境負荷低減効果が確認されたもの」とは、製品のライフサイクル全般にわたる環境負荷についてトレードオフを含め定量的、客観的かつ科学的に分析・評価し、第三者のLCA 専門家等により環境負荷低減効果が確認されたものをいう。
- 11 「主要材料」とは、製品の構成材料として、消耗品、粘着部分を除いた製品重量の50%以上を占める材料をいう。なお、再生材料等に係る判断の基準は、金属を除く主要材料に適用する。
- 12 「消耗部分」とは、使用することにより消耗する部分をいう。なお、消耗部分が交換可能な場合(カートリッジ等)は、交換可能な部分全てを、消耗部分が交換不可能な場合(ワンウェイ)は、当該部分(インク等)のみ当該製品の再生材料の配合率を算定する分母及び分子から除く。
- 13 「粘着部分」とは、主としてラベル等に用いる感圧接着剤を塗布した面をいう。なお、粘着材及び剥離紙・剥離基材(台紙)を当該製品の再生材料の配合率を算定する分母及び分子から除く。
- 14 「大部分の材料が金属類」とは、製品に使用されている金属類が消耗品、粘着部分を除いた製品全体重量の95%以上であるものをいう。
- 15 文具類共通の判断の基準は、金属以外の主要材料としてプラスチック、木質及び紙を使用している場合並びに大部分の材料が金属類である場合について定めたものであり、大部分の材料が金属類に該当しない場合かつ金属が主要材料であって、プラスチック、木質又は紙を使用していないものは、本項の判断の基準の対象とする品目に含まれないものとする。
- 16 文具類共通の判断の基準④アについては、自社の同等の機能を有する従来品と比較して原材料の使用量の削減及び軽量化・減量化が図られるよう製品の設計がなされていること又は自社で定めた製品の機能に関連する重量原単位が削減されるよう設計がなされていることとする。
- 17 文具類共通の判断の基準⑤の「エコマーク認定基準」とは、公益財団法人日本環境協会エコマーク事務局が運営するエコマーク制度の商品類型のうち、商品類型No.112「文具・事務用品 Version2」に係る認定基準をいう。なお、特定調達品目であってエコマーク認定基準を満たす製品については備考11に示す主要材料の定義によらず、判断の基準を満たすものとみなす。
- 18 ダストブロワーに係る判断の基準における「フロン類」とは、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成13年法律第64号)第2条第1項に定める物質をいう。判断の基準において使用できる物質は、二酸化炭素、ジメチルエーテル及びハイドロフルオロオレフィン(HF01234ze)等。
- 19 ダストブロワーに係る判断の基準については、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成13 年法律第64号)第2条第2項の指定製品の対象となる製品に適用するものとする。
- 20 本項の判断の基準の対象となる「メディアケース」は、CD、DVD 及びBD 用とする。
- 21 塗工されている印刷用紙に係る判断の基準は、基本方針「2. 紙類」の「塗工されている印刷用紙」による。
- 22 「地球温暖化係数」とは、地球の温暖化をもたらす程度の二酸化炭素に係る当該程度に対する比を示す数値をいう。
- 23 文具類共通の配慮事項⑥の定量的環境情報は、カーボンフットプリント(ISO 14067)、ライフサイクルアセスメント(ISO 14040及び ISO 14044)又は経済産業省・環境省作成の「カーボンフットプリントガイドライン」等に整合して算定したものである。
- 24 木質又は紙の原料となる原木についての合法性及び持続可能な森林経営が営まれている森林からの産出に係る確認を行う場合には、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月)」に準拠して行うものとする。なお、都道府県等による森林、木材等の認証制度も合法性の確認に活用できることとする。
- ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者があらかじめ当該原料・製品等を特定し、毎年1回林野庁に報告を行うとともに、証明書に特定された原料・製品等であることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法的な木材であることの証明は不要とする。なお、本ただし書きの設定期間については、市場動向を勘案しつつ、適切に検討を実施することとする。
- 25 紙の原料となる間伐材の確認は、林野庁作成の「間伐材チップの確認のためのガイドライン(平成21年2月)」に準拠して行うものとする。
- 26 紙の場合は、複数の木材チップを混合して生産するため、製造工程において製品ごとの実配合を担保することが困難等の理由を勘案し、間伐材等の管理方法は環境省作成の「森林認証材・間伐材に係るクレジット方式運用ガイドライン(平成21年2月13日)」に準拠したクレジット方式を採用することができる。また、森林認証材については、各制度に基づくクレジット方式により運営を行うことができる。
- なお、「クレジット方式」とは、個々の製品に実配合されいるか否かを問わず、一定期間に製造された製品全体に使用された森林認証材・間伐材等とそれ以外の原料の使用料に基づき、個々の製品に対し森林認証材・間伐材等が等しく使われているとみなす方式をいう。

【目標の立て方】

各品目の当該年度の調達総量(点数)に占める基準を満たす物品の数量(点数)の割合とする。

◆共通の判断の基準について◆

新たに、グリーンスチールの使用に関する全分野共通の判断の基準が設定されたが、文具類の各品目においては、グリーンスチールの利活用はほとんど進んでいない。
本手引では、将来の文具類におけるグリーンスチールの利活用に向けた参考情報として共通の判断の基準を掲載する。

「共通の判断の基準」

下記のとおり共通の判断の基準を設定し、個別の特定調達品目に係る判断の基準と合わせて適用する。＜注＞

原材料に鉄鋼が使用された物品	【判断の基準】 ○基準値1は、当該品目に係る判断の基準を満たし、次の要件を満たす鉄鋼が使用されていること。 ①削減実績量が付されていること。 ②原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクルにおける温室効果ガス排出量を地球温暖化係数に基づき二酸化炭素相当量に換算して算定した定量的環境情報が開示されていること。
----------------	---

備考) 1 「削減実績量が付されていること」とは、一般社団法人日本鉄鋼連盟作成の「グリーンスチールに関するガイドライン」の手続に従って削減実績量が証書として付されていることをいう。

2 「地球温暖化係数」とは、地球の温暖化をもたらす程度の二酸化炭素に係る当該程度に対する比を示す数値をいう。

3 定量的環境情報は、カーボンフットプリント(ISO 14067)、ライフサイクルアセスメント(ISO 14040又はISO 14044)又は経済産業省・環境省作成の「カーボンフットプリントガイドライン」等に整合して算定したものとする。

4 共通の判断の基準について、製造事業者において当該基準1を満たす製品を製造する時期と同製品が販売される時期に差が生じることにより判断の基準を満たす鉄鋼の使用が困難な場合はこの限りではない。

5 調達を行う各機関は、環境省及び製造事業者等がウェブサイト等に公表する情報提供を踏まえ、調達を行うこと。

＜注＞ 2段階の判断の基準が設定されている品目については、当該品目に係る基準値1を満たす場合、又は共通の判断の基準値1を満たし当該品目に係る基準値2を満たす場合は基準値1となる。また、共通の判断の基準の基準値1、当該品目に係る基準値1のいずれも満たさずに当該品目に係る基準値2を満たす場合は基準値2となる。

2段階の判断の基準が設定されていない品目については、共通の判断の基準の基準値1を満たし当該品目に係る判断の基準を満たす場合は基準値1となる。また、共通の判断の基準1を満たさずに当該品目に係る判断の基準を満たす場合は適合となる。

なお、個別の品目において当該品目における判断の基準(2段階の判断の基準が設定されている場合は基準値2)を満たさない場合は、共通の判断の基準の適合状況によらず適合しない。

＜全日本文具協会 脚注＞

※ 文具類の各品目は、「2段階の判断の基準が設定されていない品目」に該当する。

※ 製品の一部(部品)にグリーンスチールを使用している場合、その製品は共通の判断の基準を満たす。

例1) ボールペンのバネの素材にグリーンスチールを使用している場合、そのボールペンは共通の判断の基準を満たす。

例2) ファイルの綴じ金具の素材にグリーンスチールを使用している場合、そのファイルは共通の判断の基準を満たす。

[参考1]定義

「判断の基準」、「基準値1」、「基準値2」及び「配慮事項」は、それぞれ下記のとおり定義されている。

「判断の基準」：法第6条第2項第2号に規定する特定調達物品等であるための基準

「基準値1」：判断の基準において2段階の判断の基準を設定している場合に、当該品目におけるより高い環境性能の基準であり、調達に際しての支障や供給上の制約等がない限り調達を推進していく基準として示すもの

※ 脱炭素社会等の実現を目指す観点からも「基準値1」による調達が積極的に推進されている。

「基準値2」：判断の基準において2段階の判断の基準を設定している場合に、各機関において調達を行う最低限の基準として示すもの

「配慮事項」：特定調達物品等であるための要件ではないが、特定調達物品等を調達するに当たって、更に配慮することが望ましい事項

[参考2]URL

* グリーンスチールに関するガイドライン <https://www.jsif.or.jp/business/ondanka/kouken/greensteel/documents/Guidelinesforgreensteelv2.1jp.pdf>

* カーボンフットプリントガイドライン https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/carbon_footprint/pdf/20230526_3.pdf

2. 文具類特定調達品目の解釈と具体例

特定調達品目名	品目の解釈(機能・用途・形態等)	特定調達品目となる範囲	特定調達品目とならない範囲
		製品例	製品例
シャープペンシル	筆記・製図等のために芯を保持し繰り出す、手持ちの筆記具。	ノック式(ホルダー式含む)・回転式のシャープペンシル	
シャープペンシル替芯	シャープペンシルに用いる替芯〔判断の基準は容器に適用〕。	複合筆記具(シャープペンシル＋他の筆記具等)は対象。 0.2、0.3、0.4、0.5、0.7、0.9、1.2、1.3、2.0等の直径の芯 色芯も含む。	
ボールペン	筆記先端の回転可能なボールによって、インキを供給する方式のペン。	油性ボールペン・水性ボールペン・ゲルインキボールペン (多色ボールペンを含む)、複合筆記具(ボールペン＋他の筆記具 等)は対象。	レフィル(リフィール、リフィル、中芯と表示される場合があります)。 芯が交換できない使い切りタイプのもの。
マーキングペン	プラスチック製、ガラス製又は金属製容器の中にインキを含ませた吸収体あるいは、直 接インキを入れ、これらに繊維製又はプラスチック製ペン等を取り付けたもの。	油性マーカー・水性マーカー、蛍光ペン、ホワイトボードマーカー、ペ イントマーカー、名前書き用マーカー、筆ペン、サインペン、OHPマ ーカー。	インキカートリッジ、つめ替え用インキボトル、ペン芯。
鉛筆	木質等の軸の中に鉛筆用芯又は色芯を固定し、描くときに加わる力に耐えることのでき る手で保持して描く筆記具。	鉛筆、色鉛筆(紙巻軸・プラスチック製軸を含む)。	芯だけの鉛筆、芯だけの色鉛筆。
スタンプ台	蓋を有する容器に収納したスタンプ用インキを含ませた吸収体により、ゴム印・木口印等 へインキを転写する用具。		補充インキ。
朱肉	蓋を有する容器に収納した朱油・朱液等を含む吸収体により、または朱肉により、印鑑 へ朱等を転写する用具。		ブラシ、スポンジ、印鑑皿等と複合されたもの(印章セットに該当) 補充用朱油・朱液。
印章セット	①朱油、朱液等を吸収体に含ませた朱肉、印鑑を置く印鑑皿、印面を清掃するブラシ・ スポンジ等が一つの蓋付きの容器に備わっている用具 ②印鑑を挿入した軸に朱肉皿 が装着され、捺印の度に印面に自動的に朱油、朱液等が転写される用具 ③その他の 朱肉付印鑑ケース。		朱肉皿、ブラシ・スポンジ入れ、印鑑皿等が付いている引出し用のト レー(トレーに該当)。 補充用朱油、朱液、印箱。
印箱	印鑑、スタンプ類、スタンプ台などの用品を複数まとめて保管するための収納ケース。	印箱(印章や朱肉などがあらかじめセットされていないもの)。	印章や朱肉などがあらかじめセットされているものは印章セットとす る。
公印	公文書に使用する省庁印及び職印等。	各公印規程に定められている印鑑(朱肉を使用し、押印するもの)。	公印規程に定められている印鑑のうち、朱肉を使用せずに押印する 印鑑(浸透印・電子印等)。
ゴム印	スタンプ台等を使用し印面にインキを付着させて、または本体に内蔵したインキを印面に 浸透させて使用する印面がゴム等で構成される印判。	浸透印、連結式を含む。	石・骨・木・プラスチック等の木口部がそのまま印面になっている印 鑑。
回転ゴム印	帯状のゴム印をフレームに懸架し、帯を回転させることにより印字部を選択し、あるいは 帯を数本組み合わせて日付等を形成し、使用する捺印具。マスター印(日付の周囲の「受 付」等固定の印)を持つ形式を含む。	回転日付印(デート印)、回転数字印、マスター印、 回転科目印、インキ浸透タイプの回転ゴム印。	ナンバリング・チェックライター等ドラム状(形状が変わらない)の印字 体を持つ製品。
定規	直線及び曲線を引く用具、又は長さ、角度を測定する用具。	直定規、三角定規、分度器、三角スケール、曲線や図形等を描くた めの定規。	製図機、製図台、コンパス。
トレー	机上または機の引き出しの中を整理・分類するための商品。形状としては平面に近く、 書類を管理する場合は平置きする。	書類用・小物用・ペン用・硬貨用(カルトン)。 書類用で複数が重なっている(重ねられる)もの、決裁箱。	書類を立てて管理するもの。 硬貨をカウントするための容器。
消しゴム	鉛筆及びシャープペンシルで描画されたものを消すために用いるプラスチック字消し、及 び天然ゴムでできた消しゴム[判断の基準は巻紙(スリプ)又はケースに適用]。	ペン型繰り出し式消しゴムを含む。	保管を目的としたケースに収納された消しゴム(練り消しゴム、シャ ープペンシル等替え消しゴム等)、電動字消し器。
ステープラー(汎用型)	コの字型の針を紙等に打ち込んで紙同士をとじ合わせる道具。	No.10の針を使用するハンディタイプのもの。	タッカー、電動タイプ、大型ステープラー、付加機能(フラットタイプ・ 軽とじタイプ・針収納タイプ・中とじタイプ等)を付したNo.10の針を使用 するもの。
ステープラー(汎用型以外)	コの字型の針を紙等に打ち込んでとじる、或は、針を使用せず紙同士をとじ合わせる道 具。	汎用型以外のもの(大型ステープラー、付加機能(フラットタイプ・軽 とじタイプ・針収納タイプ・中とじタイプ等)を付したNo.10の針を使用す るもの、針を使用しないもの)。	タッカー、電動タイプ、No.10の針を使用するハンディタイプのもの。
ステープラー針リムーバー	とじてあるステープラーの針を簡易に取り除く道具。		
連射式クリップ(本体)	紙をガイドに挿入し、連続してコの字型の再利用できるクリップを繰り出してとじる紙とじ 具。 (本体のみで、クリップは含まれない)		
事務用修正具(テープ)	各種筆記具、乾式複写機、プリンタ、タイプライタなどによって作成された描線、文字な どを隠べい、修正するために使用するテープ状の修正具。	修正カバーテープを含む。	事務用修正具(固形)、交換用テープ又はカートリッジ。
事務用修正具(液状)	各種筆記具、乾式複写機、プリンタ、タイプライタなどによって作成された描線、文字な どを隠べい、修正するために使用する液状の修正具[判断の基準は容器に適用]。		事務用修正具(固形)、補充液。
クラフトテープ	主に梱包等に用いる、紙をテープ基材として片面に粘着剤を塗布したテープ。	表面に文字が印刷してあるものを含む。	

2. 文具類特定調達品目の解釈と具体例

特定調達品目名	品目の解釈(機能・用途・形態等)	特定調達品目となる範囲	特定調達品目とならない範囲
		製品例	製品例
布粘着テープ (プラスチック製クロステープを含む。)	主に梱包等に用いる、布等をテープ基材として、片面に粘着剤を塗布したテープ。 (プラスチック素材のテープ基材を含む。)	表面に文字が印刷してあるものを含む。	
両面粘着紙テープ	紙をテープ基材として両面に粘着剤を塗布したテープ。		フィルム基材両面テープ、基材無し両面テープ。
製本テープ	製本を目的とした紙基材に粘着剤を塗布したテープ[判断の基準はテープ基材に適用]。	ホットメルト樹脂タイプ製本テープを含む。	布製本テープ。
ブックスタンド	机上等で本を立てて保管する際に横方向への倒壊を避けるための棚や仕切り。	複数枚の仕切りが一体化されたもの。 2枚の仕切りが一枚ずつ独立したものの(ブックエンド)。	書見台、原稿台。
ペンスタンド	机上等で筆記具等を立てて収納する容器。		ペントレー(トレーを含む)、筆入れ(箱)。
クリップケース	書類を挟んで止める金具(クリップ)を収納し、取り出しやすく工夫してある容器。		
はさみ	紙や布等を2枚の刃で挟むことにより切断する道具。		
マグネット(玉)	磁力を利用して金属製の壁等に書類等を固定するための円状のもの。	磁性体(磁石等)を樹脂等でカバーしたもの(注1)。 (ただし、磁性体の部分には文具類共通の判断の基準を適用しない。)	磁性体にクリップ機能を持ったカバーが付加されたもの マグネットフック、マグネットクリップ
マグネット(バー)	磁力を利用して金属製の壁等に書類等を固定するための棒状のもの。	磁性体(磁石等)を樹脂等でカバーしたもの<注1>。 (ただし、磁性体の部分には文具類共通の判断の基準を適用しない。)	磁石にクリップ機能を持ったカバーが付加されたもの。
テープカッター	セロファンテープ、PPテープ、梱包用テープ等を装着してカットする用具。	机上型、ハンディタイプ、テープ付を含む(使い捨てではないこと)。	電動テープカッター、カッター付小巻粘着テープ(使い捨て用)、粘着テープが主の簡易カッターつきテープ。
パンチ(手動)	主に紙に穴をあけるための手動の穴あけ器(穴の数を問わない)。		千枚通し。
モルトケース(紙めくり用スポンジケース)	書類や書籍のページをめくる際、滑り止めのために指先を濡らすための道具(スポンジ以外の保水手段を含む)。	モルトケース。	スポンジのみ。
紙めくりクリーム	書類や書籍のページをめくる際、指先の滑り止めのために塗布するクリーム[判断の基準は容器に適用]。		
鉛筆削(手動)	①送り装置をもち、ハンドルによってカッタを回転させ、鉛筆及び色鉛筆を削ることができる構造をもった削り器。 ②送り装置をもち、手で保持した鉛筆及び色鉛筆を押し付けながら回転させて削ることのできる構造をもった携帯用ミニ削り器。		ホルダーしん削り器。
OAクリーナー(ウェットタイプ)	不織布等に洗浄液を含ませて容器に収納したOA機器(事務用機器)用清浄材[判断の基準は容器に適用]。	ウェットクリーニングティッシュ。	詰替え用等。
OAクリーナー(液タイプ)	洗浄剤を容器に収納したOA機器(事務用機器)用洗浄液[判断の基準は容器に適用]。	ボトルタイプ、スプレータイプ、ミストタイプ、泡タイプ等。	詰替え用等。
ダストブロー	ノズルから噴出される気体の風圧で、機器上に溜まった埃を吹き飛ばし、清掃するためのスプレー缶等の器具。		
レターケース	書類を保管するための複数の引き出しを装備した箱型の保管庫。机上・棚上で使用することを前提とする。		小物類の保管を前提にしたもの。 書類を立てて保管するもの、床置きを前提にしたもの。
メディアケース(CD・DVD・BD用)	CD、DVD及びBDなど各種メディアを収納するためのケース。	箱状のもの。 ブックタイプのもの。	
マウスパッド	マウスを使う際にマウス内のボールが的確に動くように敷くマット。また、光学式マウスの場合、誤作動防止のために敷くマット。		
OAフィルター(枠あり)	ディスプレイの前につけて、画面の映り込み、反射を防ぐとともに画面を保護するための器具。		
丸刃式紙裁断機	レールに装着された丸刃付きスライダーを下に押し付けスライドさせて、レールと台にはさまれた紙を裁断するタイプの紙裁断機。		
カッターナイフ	紙等薄いシート状の素材を切るための、1枚刃の鋭利な刃物。	片手で簡単に持ち運びができるハンディタイプのもの。	刃が台に固定されたまま断裁するもの。

2. 文具類特定調達品目の解釈と具体例

特定調達品目名	品目の解釈(機能・用途・形態等)	特定調達品目となる範囲	特定調達品目とならない範囲
		製品例	製品例
カッティングマット	カッターナイフなどでカッティング作業を行う際、デスク・テーブルの天板などに傷がつかないように保護するとともに、カッティング作業を円滑にするために敷くマット。		
デスクマット	デスク・テーブルの天板面を保護するとともに事務作業を円滑にするために敷くマット。		
OHPフィルム	OHPで文字や図等を投影するための光透過性の樹脂フィルム。		
絵筆	木質、またはプラスチックの軸に合成繊維、動物毛(馬毛、豚毛等)、又は両者の混毛の穂先をつけたもので、画筆と呼ばれる場合もある。		刷毛。
絵の具	顔料に水溶性展色剤を混和して練り合わせた一般に使用する水彩絵具、及び合成樹脂エマルジョン絵の具[判断の基準は容器に適用]。	ポスターカラー、固形状絵の具、粉末状絵の具。	
墨汁	カーボンブラックや他の色素から成る着色剤を膠や合成樹脂とともに水に分散又は溶解させたもの[判断の基準は容器に適用]。	朱墨を含む。	
のり(液状) (補充用を含む)	主に事務用として紙などを貼り合わせる事務用のりで、水溶性高分子化合物等を主成分とした液状のもの[判断の基準は容器に適用]。	貼ってはがせるのり(液状)を含む。	ガススプレー缶。
のり(澱粉のり) (補充用を含む)	主に事務用として紙などを貼り合わせる事務用のりで、でんぶんを主成分としたペースト状のもの[判断の基準は容器に適用]。		
のり(固形) (補充用を含む)	主に事務用として紙などを貼り合わせる事務用のりで、水溶性高分子化合物等を主成分とした固形状のもの[判断の基準は容器・ケースに適用]。	貼ってはがせるのり(固形)を含む。 詰替え用カートリッジを含む。	
のり(テープ)	主に事務用として紙などを貼り合わせる事務用のりで、非水溶性高分子化合物を主成分としたのりをテープ基材にのせたもの[判断の基準は容器・ケースに適用]。	貼ってはがせるのり(テープ)を含む。	交換用テープ又はカートリッジ。
ファイル	・ファイルとは概ね記録済みの文書(伝票・カタログ・書類等)をとり、又は、はさみ入れて整理・保管することのできる表紙。(出所:日本ファイル・バインダー協会)	●穴をあけてとじるファイル フラットファイル・レターファイル・ファスナー・スプリングファイル・キャップ式ファイル・パイプ式ファイル(片開き)・パイプ式ファイル(両開き)・スタンド式ファイル・とじこみ表紙・バッチファイル・ホック式ファイル・ビス式ファイル・スモールファイル・A-Zファイル ●穴をあけずにとじるファイル フォルダー・ハンキングフォルダー・持出しフォルダー・ホルダー・ボックスファイル・ドキュメントファイル・透明ポケット式ファイル(固定式)・透明ポケット式ファイル(差替式)・スクラップブック・Z式ファイル・クリップファイル・プレスファイル・用箋挟(クリップボード)・ピン式ファイル・パンフレットファイル・図面ファイル・ケースファイル・スライドレール式ファイル・スライドクリップ式ファイル ●コンピュータ用データファイル (キャップ式・スライド式・フッキング式・レター式) (以上 出所:日本ファイル・バインダー協会) ●その他書類等をまとめて保管するための表紙・ケース・ホルダー類全般(替表紙、板目表紙、名刺ホルダー、はがきホルダー、書類(文書)用保存箱、サンプルボックス、チャック付ケース等) ●認定プラスチック製品(クリアーホルダー及びクリアーファイル) <注2>	・書類を平置きするトレイ(トレイに該当) ・複数の引き出しを有する書類ケース(レターケースに該当) ・少数枚の書類を保護するための薄い透明ケース(カードケースに該当) ・リングファイル(バインダーに該当)
バインダー	・バインダーとは概ね未記録のとじ穴のある用紙(ルーズリーフ、帳票等)を挿入し、記録できるとし具付表紙。(出所:日本ファイル・バインダー協会)	●MPバインダー(マルチプロング・背メタル) ●リングバインダー(X式:平てこ式・立ててこ式・てこなし) ●その他のバインダー(コガネ式・スライド式・横開き式) ●コンピュータ用データバインダー (キャップ式・スライド式・フッキング式・レター式) (以上 出所:日本ファイル・バインダー協会) ●認定プラスチック製品(バインダー)<注2>	
ファイリング用品	ファイル又はバインダーに入れる補充用のもの。	●背見出し・ポケット・仕切り紙・その他ファイル・バインダーのとじ穴規格に対応した補充用品。	穴の空いた記入用紙(けい紙に該当)
アルバム (台紙を含む)	本型形状で、写真を保管することを目的にした収録用品。	台紙式アルバム・ポケット式アルバム・工事用アルバム。 替台紙、補充用替台紙を含む。	箱状で、写真を一括保管することを前提にしたもの。
つづりひも	書類を綴じるための細長いひも状のもの。		

2. 文具類特定調達品目の解釈と具体例

特定調達品目名	品目の解釈(機能・用途・形態等)	特定調達品目となる範囲	特定調達品目とならない範囲
		製品例	製品例
カードケース	①閲覧や掲示をする書類を折れや傷みから保護するための、一辺に挿入口がある薄い透明ケース。 ②カードを複数枚収納するボックス型ケース。		ファイル等に収容することを前提に一辺に複数の穴を設けているもの(ファイリング用品に該当)。 書類をまとめて保管するために収容するケース・ホルダー(ファイルに該当)。
事務用封筒(紙製)	書類等を送付する際に収容するためのもの。	クッション材入りのものを含む。	
窓付き封筒(紙製)	内容物に表示された宛名等が判読できるように、フィルム又は紙からなる窓がある封筒。		
けい紙	文字等を筆記するために何らかの罫線が印刷された用紙類。複数枚の紙の一边が糊等で製本されたもの、又は複数枚の紙が袋等で束になっているものを含む。	レポート用紙、セクションペーパー、ルーズリーフ(無地含む)。 メモ帳(無地含む)、原稿用紙、伝票(会計票を含む)、便箋。	
起案用紙	文字等を筆記するために、起案用語などが印刷された用紙類。複数枚の紙の一边が糊等で製本されたもの、又は複数枚の紙が袋等で束になっているものを含む。		
ノート	文字等を筆記するための用紙類で、糸とじ、金具とじ(らせんとじ、針金とじ、ツインリングとじ)、無線とじ製本等で表紙と用紙が固着されたもの。		バインダーノートはバインダーに該当。
パンチラベル	書類のどじ穴部分の補強、又は破損を防ぐために用いる裏面に粘着剤が塗布された小片の穴あきラベル。		
タックラベル	プリンタ出力や手書きにより記入できる、裏面に粘着剤が塗布されたラベル。	宛名用ラベル・タイトル用ラベル、OA用ラベル。	ラベル作成機で印字された、専用のテープ状ラベル。
インデックス	複数枚の書類や書籍のページ端に二つ折りにして貼り、目印とすることを目的とし、見出し記入ができるスペースをもち、裏面に粘着剤が塗布された小片のシート。		
付箋紙	裏面の一部分(又は全面)に再剥離タイプの粘着剤を塗布し、積層した見出し用紙・メモ用紙。	ロールタイプも含む。	
付箋フィルム	裏面の一部分(又は全面)に再剥離タイプの粘着剤を塗布し、積層した見出し用フィルム・メモ用フィルム。	ロールタイプも含む。	
黒板拭き	黒板にチョークで書かれた文字・図形などの消去に用いる用具。		
ホワイトボード用イレーザ	ホワイトボード上にホワイトボードマーカーで書かれた文字・図形などの消去に用いる用具。		交換用ホワイトボードイレーザ。
額縁	賞状や写真などを掲示するための装飾されたケース。		
テープ印字機等用カセット	テープ印字機やラベルプリンターで印字するための専用のテープまたはラベルを収納したカセットまたはカートリッジ	テープ印字機やラベルプリンターの専用テープカセット及びカートリッジ	プリンター用インクリボンカセット タイプライター用インクリボンのリボンガイド
テープ印字機等用テープ	テープ印字機やラベルプリンターで印字するための専用のテープまたはラベル	テープ印字機やラベルプリンターの専用テープ及びラベル	タックラベルなどテープ印字機やラベルプリンターの専用でないテープ及びラベル
ごみ箱	ゴミを入れておく箱。		灰皿。
リサイクルボックス	廃棄物の分別・保管を目的とし、資源の有効活用のために使われる容器・ボックス。	多段式、連結式を含む。	分別を目的としないもの。
缶・ボトルつぶし機(手動)	軽く足などでプレスすることにより、空き缶やペットボトルを減容するもの。		
名札(机上用)	個人名や社名などを主に机上で表示するもの、又はそのためのケース。		
名札(衣服取付型・首下げ型)	個人名や社名などを表示して身につけるためのケース。	安全ピンやクリップで衣服に留めるタイプ。 首から吊り下げるタイプ。 部品売りしている場合は、各部品も対象とする。	

2. 文具類特定調達品目の解釈と具体例

特定調達品目名	品目の解釈(機能・用途・形態等)	特定調達品目となる範囲	特定調達品目とならない範囲
		製品例	製品例
鍵かけ(フックを含む)	鍵を掛けることを目的とした、壁面用または収納用の簡易なフック・ハンガーの類。但し、扉付きの収納什器としてのキーケースは、機器類(オフィス家具)の品目分野とし、文具類の対象ではない。	鍵用のフック(単体タイプ、連接タイプ、複数一体型)。	保管什器としての扉付キーケース(機器類に該当)。 ※(一社)日本オフィス家具協会手引書参照。
チョーク			
グラウンド用白線			
梱包用バンド			

＜注1＞磁性体とは、一般的に磁場内で磁化する物質のことであるが、この手引においては特に外部磁場が無くても自ら磁力を持つ材料を示し、磁性体を含有させている部品全体を磁性体と表現する。

＜注2＞認定プラスチック製品とは、プラスチック資源循環促進法に基づくプラスチック使用製品設計指針に沿って設計され、主務大臣が国の定めたプラスチック使用製品の設計認定基準に適合していることを認定したプラスチック製品をいう。

文具類については、現在「クリアーホルダー」、「クリアーファイル」及び「バインダー」の3品目の「プラスチック使用製品の設計認定基準」が定められている。

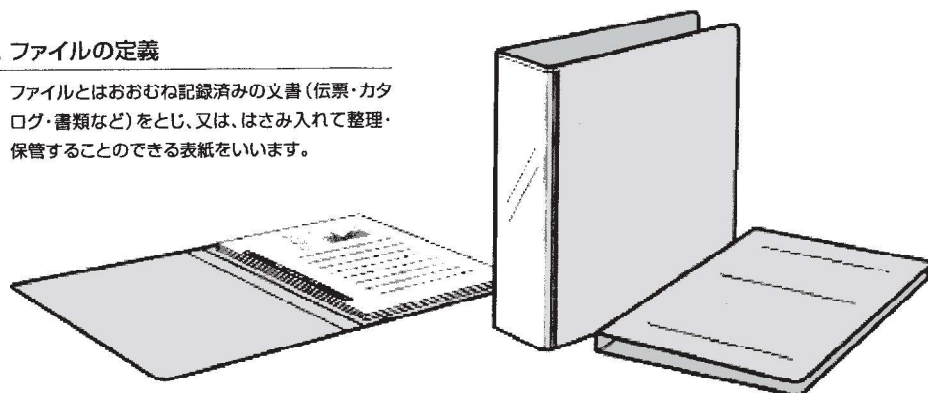
上記3品目の設計認定基準は、認定プラスチック製品がグリーン購入法の文具類の判断の基準に適合するように定められている。

(上記3品目の設計認定基準は、令和7年度までには経済産業省により公開される見込みです。)

3. ファイル、バインダーの形式と名称

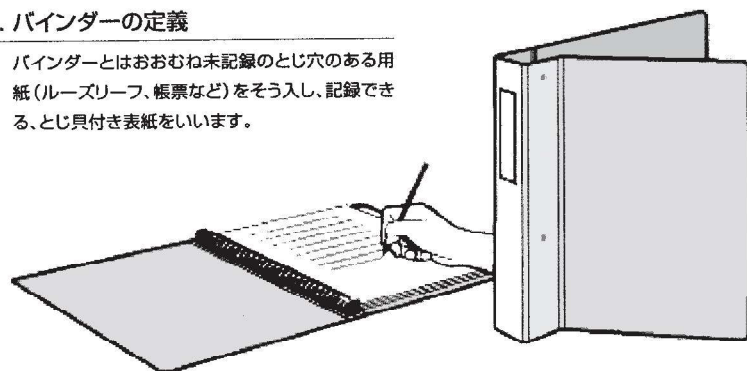
1. ファイルの定義

ファイルとはおおむね記録済みの文書（伝票・カタログ・書類など）をとり、又は、はさみ入れて整理・保管することのできる表紙をいいます。



2. バインダーの定義

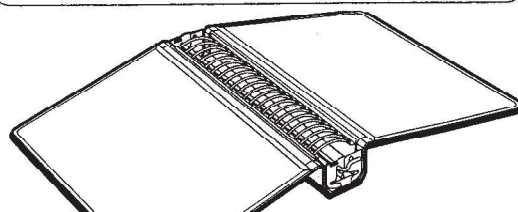
バインダーとはおおむね未記録のとり穴のある用紙（ルーズリーフ、帳票など）をそう入し、記録できる、とり貝付き表紙をいいます。



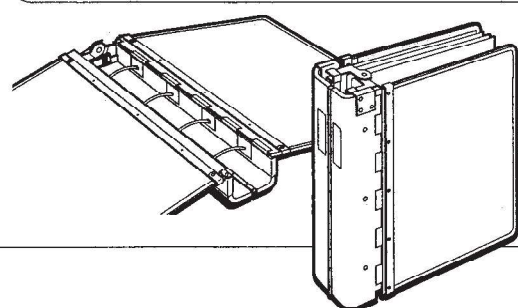
● MP バインダー

多穴式で円弧状のくしが左右交互に中身用紙を刺し通す方式です。

MP (マルチブロング) バインダー



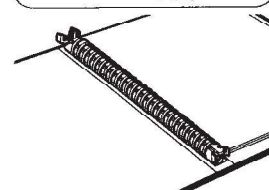
MP (背メタル) バインダー



● リングバインダー

半円状のくしが中央でかみ合う方式です。とり厚さはリングの内径で呼称します。

X式



平てこ式



立ててこ式



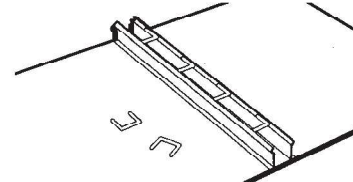
てこなし



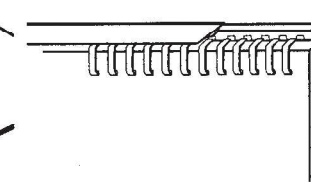
リング形式	真円型	ダ円型	D型	変形D型	角型
	内径	内径	内径	内径	内径
取り位置					

● その他のバインダー

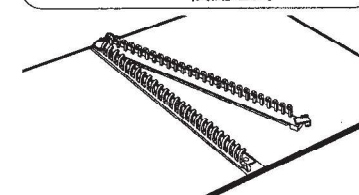
コガネ式



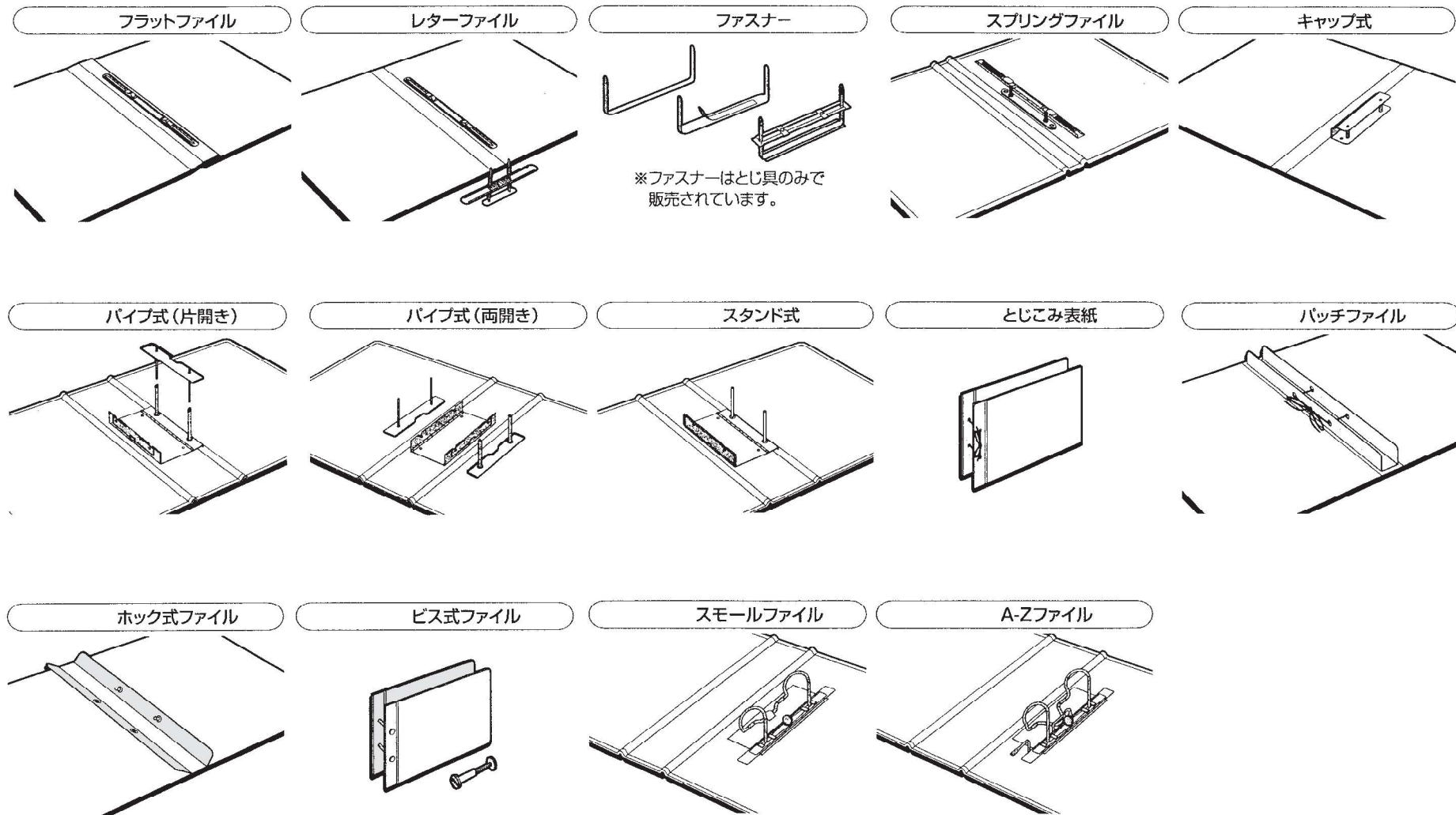
スライド式



横開き式

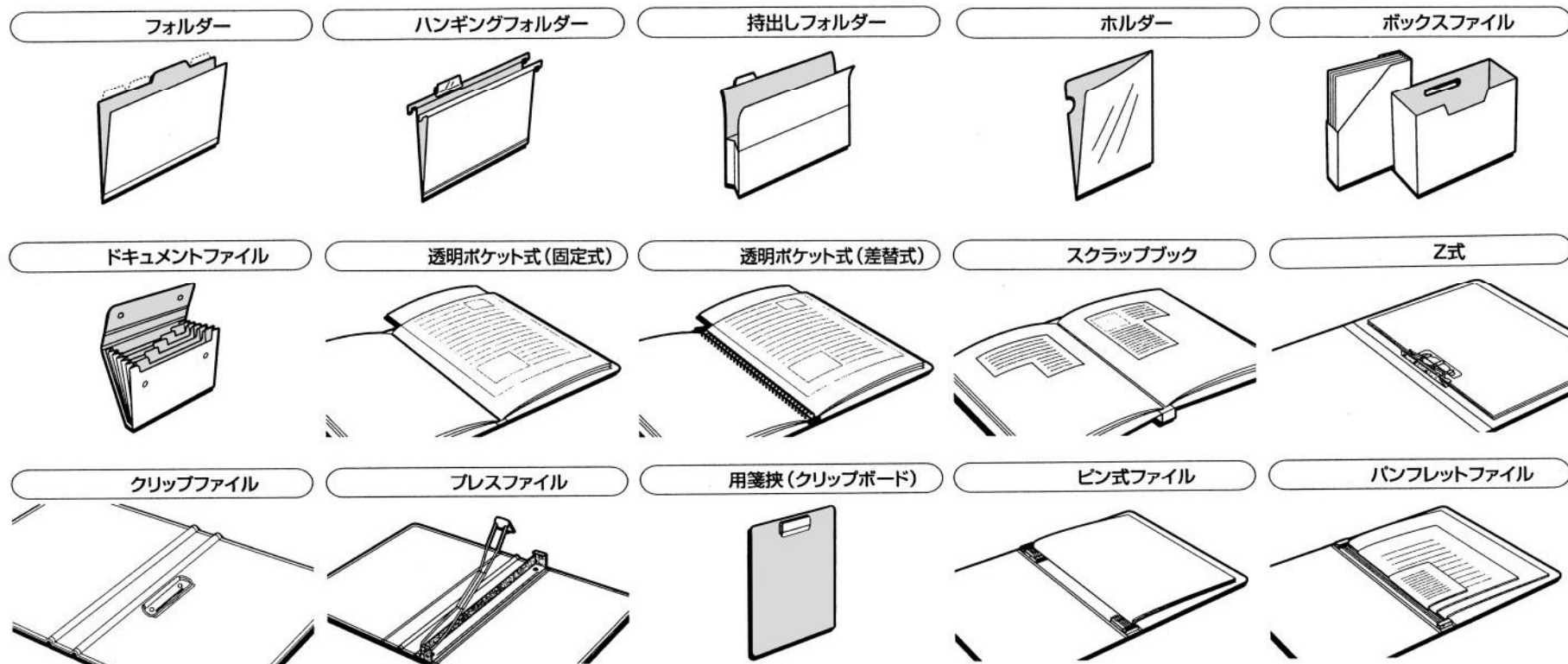


● 穴をあけてとじるファイル

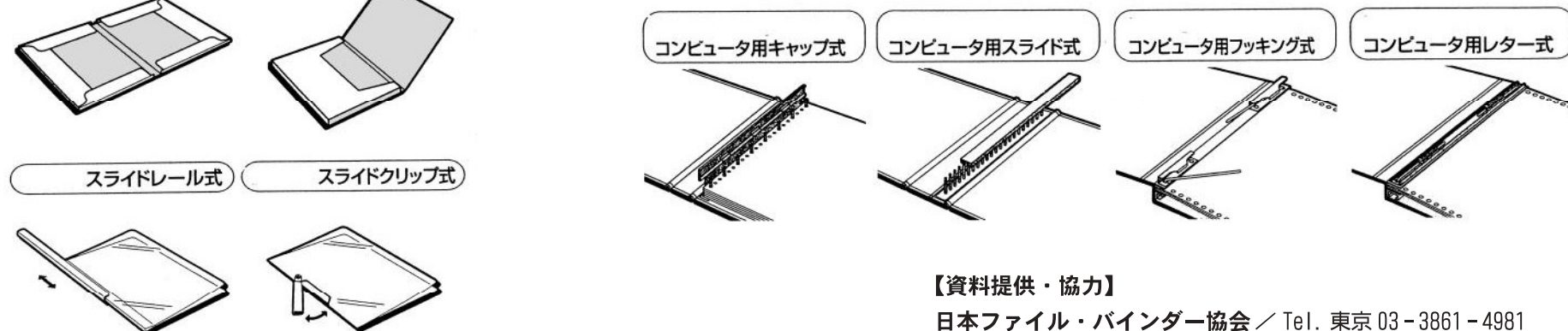


(日本ファイル・バインダー協会 編纂の「アイルとバインダーのしおり」から転載)

● 穴をあけずにとじるファイル



● コンピュータ用データファイル・バインダー



【資料提供・協力】

日本ファイル・バインダー協会 / Tel. 東京 03-3861-4981
〒111-8611 東京都台東区柳橋 1-2-10 東京文具共和会館 7F

※ファイル、バインダーについては、同協会の「ホームページ」で詳しく紹介。

一般社団法人 全日本文具協会
環境安全委員会 構成表

(委 員)	加藤 泰稔	株式会社 馬印
	青木 和治	株式会社 馬印
	遠藤 慎	株式会社 キングジム
	武内 計憲	コクヨ 株式会社
	和田 貴夫	コクヨ 株式会社
	塩井 恵子	株式会社 サクラクレパス
	原嶋 敏男	サンスター文具 株式会社
	一松 公人	シヤチハタ 株式会社
	小田 朋子	ゼブラ 株式会社
	菊池 英龍	株式会社 トンボ鉛筆
	上野 俊彦	日学 株式会社
	新羽 康彦	ニチバン 株式会社
	磯本 明人	株式会社 パイロットコーポレーション
	瀬戸 達也	株式会社 パイロットコーポレーション
	添田 修一	プラス 株式会社
	荘司 和彦	ぺんてる 株式会社
	内田 傑雄	ぺんてる 株式会社
	高橋 賢	マックス 株式会社
	伊藤 浩之	三菱鉛筆 株式会社
	青木 英敏	ヤマト 株式会社
(事務局)	茂野 雅之	株式会社 ライオン事務器
	川崎 靖二	株式会社 LIHIT LAB.
	大沼 章浩	一般社団法人 全日本文具協会

(2025 年 1 月現在)

グリーン購入法〈文具類〉の手引き

〈初 版〉 平成15年 2月 発行

〈第22版〉 令和 7年 1月 発行

〔発行〕 一般社団法人 全日本文具協会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-3-14

東京文具工業健保会館 1 階

TEL. 03-5687-0961 FAX. 03-5687-0340